

第6回からっかぜ小劇場

愛

三部作

平和へのねがいと
生への希望をこめて
〈立場〉と
〈時〉と〈場所〉
を越えて
激しく、また静かに
流れ続ける
愛

作：勝山俊介 演出：志田はじめ

2月22日(水)、23日(木)▶開演6：30 浜松児童会館

2月26日(日)▶開演1：00, 5：30 青年婦人会館

《大人800円 学生600円》

劇団からっかぜ 浜松市曳馬町1409 ☎63-6011

●公演当日は会場内に託児所を設けます。お子さんをお持ちの方も安心して観賞下さい。

あらすじ

〈第一部〉 一魂

ベトナム戦争の一大補給基地と化した羽田空港のかたすみで、ひとりの若い労働者がふとした事故でその短い生涯を終った。中島英昭。24才。

母、中島ふじ。今ひとり居間に座り、英昭の“魂”に語りかける……。

事故の原因ともなった職業病椎間板ヘルニア。本人の不注意からの事故と片づけようとする会社側。仲間たちの抗議。友情の通夜……。

母は、息子の“魂”との対話のなかでさわやかな人間たちの存在を感じていく……。

〈第二部〉 一鳩

整形外科病院の手術室の前で高遠先生はじっと待ちつづけていた。ひとり息子のまさるが、ドアひとつへだてた向う側で死とたたかい続けているのである。高遠まさる、17才。先生のつとめている同じ高校の生徒である。“レース鳩こうつつを抜かし夜間訓練までやりだして、その拳句の事故。馬鹿な奴め！”

そこへひとりの少女がそっと近づいてくる。まさると同じ高校三年生湯沢麻である。

湯沢麻によって、高遠先生ははじめて、今まで知らなかった息子を発見していくのであった……。

〈第三部〉 一嵐

ある民主医療機関に運転手として勤めながら私立大学の二部に通う次郎と、若い看護婦・篁子との一組の恋人。この恋はいま激しい嵐に襲われている。篁子の首すじの異常が、癌の専門医である女医の林先生によって悪性腫瘍、つまりリンパ腺の癌の疑いと告げられたからである。折からの超大型台風。はげしい嵐の中で、救援医療活動に備えて待機する次郎。嵐にたえよ。たえるのだ。嵐に立ち向かわなければ……。

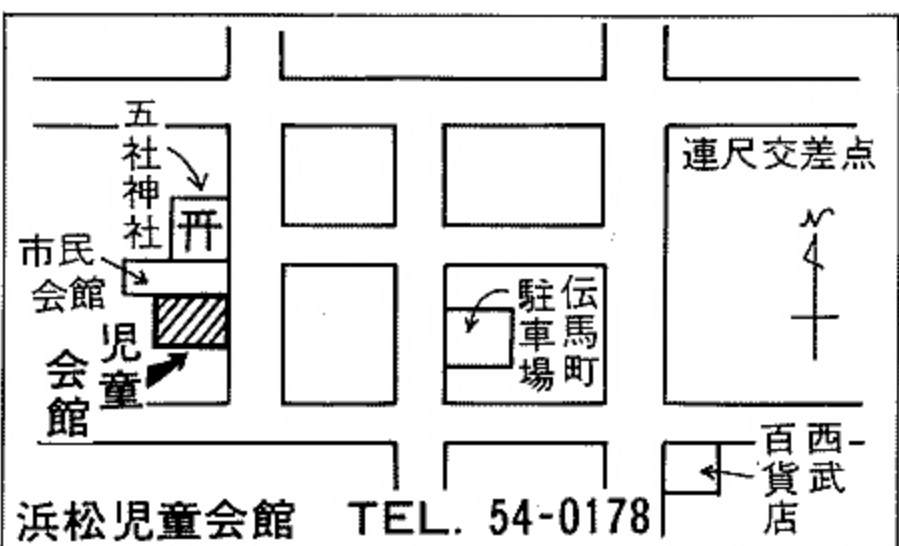
次郎が待機する玄関わきのロビー。深夜、恋人たちは、愛を、生命を、生きていくことを嵐をのりこえてたしかめ合っていく……。



★スタッフ

装置	布施佑一郎
小道具	足立鉄郎
照明	最上三平
効果	宮下公平・布施佑一郎
メイク	葵未知
衣裳	小野寺英子
演出助手	宮下公平

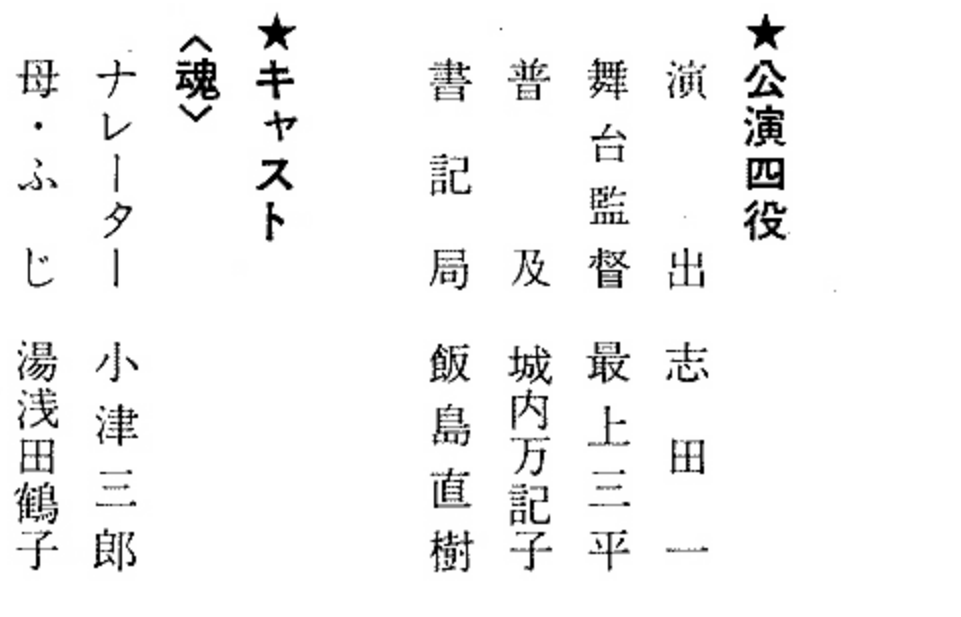
林次郎	笹子	ナレータ	湯沢麻	高遠先生	ナレータ	英昭	ナレータ	★キャスト	書記局	普及	舞台監督	演出	★公演四役
先	生	子	麻	先生	河村直子	足立鉄郎	小津三郎		飯島直樹	城内万記子	最上三平	志田一	
葵未	水無川	若杉あき	飯島直樹	佐藤つた江	平井新	湯浅田鶴子	湯浅田鶴子						



東日本リアリズム演劇会議加盟
第6回からっかぜ小劇場

“愛” 三部作

作:勝山俊介 演出:志田はじめ



死と対面する極度に凝縮された局面に立って
命ある限りの1日1日をいかに悔のない生の燃焼によってすごすのか。
愛と命の希望の旋律の中で人の命と、人の愛と、人の魂の可能性が張りつめ、
一瞬一瞬が、この三部作のとらえた時間帯の中で、
愛こそは可能性の源泉であることを謙虚に、しかし力づよくうったえる。
劇団からっかぜ、総力を挙げて問う。
真実の愛。

- 終演後、感想会を開きます。
- 劇団からっかぜ第15期生募集中！あなたの若々しいエネルギーをぶつけてみませんか。演劇はやったことがないが、という方も歓迎。演劇の初歩から一つの公演(研究公演)まで…。そして、すばらしい仲間づくり。